

学校だより



学校だより 7月号
令和3年7月1日
発行者 外日角小学校
TEL 283-0040

子どもの「よさ」を見つけ、認めること

校長 稲垣 一郎

新しい環境の中での3か月が経ちました。1年生にとっては小学校という新しい世界に入ってから3か月、進級した学年はクラス替えで仲間が変わったり、先生が変わったり、教室が変わったりと、どの子にとっても何かしらの環境の変化がありました。緊張感が続いた子もいたと思います。7月はどの学級もしっかりと土台を固める時期です。

よく、組織のことが「チーム」にたとえられます。チームワークという言葉があるように、団結力等の表れとしてこういう言葉が使われるのでしょうか。

「チーム」は様々な「よさ」をもった人が集まっています。例えば、サッカーのチームでは、守備がうまい人、攻撃がうまい人、足が速くて速攻に適している人、仲間に声を掛けるのがうまい人、人によってその「よさ」は異なりますが、それぞれの「よさ」が生かされてチームが成り立っていくのです。このことは、学校や学年・学級でも同じです。人それぞれの「よさ」があります。走るのが得意な人、ボール投げが得意な人、歌が得意な人、ダンスが得意な人、発言することが得意な人、友達へのやさしい言葉かけが得意な人、グループをまとめていくのが得意な人、等まだまだたくさんあります。その「よさ」を見付け合い、認め合い、生かす場所があると、一人一人の達成感や成就感につながり、さらには存在感が重んじられ、その学校・学級の団結力は強まっていきます。つまり「チーム」としても、まとまった活気のある「チーム」ということになります。

「あなたのよさは何？」と尋ねると、「ない。」とか「わからない。」と答える児童がいます。考えるときに、どうしても人と比べ、集団の中で優れていないと「よさ」ではないと感じてしまうのかもしれませんが、でも、誰にでもその子の中での「よさ」があります。人と比べる必要はありません。自分の中で、これが自分の「よさ」だと思えることが大事です。周りの人から、言ってあげることも大事です。「あなたはこういうところが『よさ』だよ。」と伝えてあげると、何気なく行っていたことが自分の「よさ」だと気付くことができます。

ご家庭でも家族の中で、お互いの「よさ」を伝え合ってみてください。お子様にも自分の「よさ」を自覚させてあげてください。各学級で、そして学校全体で、お互いの「よさ」を認め合ってすばらしい「チーム」ができるようにしていきたいと思います。学校では、子ども達が「いいねカード」でたくさんの「よさ」を見つけ、伝え合っています。子ども達の自己有用感がどんどん高まってほしいです。

